



2027年3月期 第1四半期決算短信 (日本基準) (連結)

2026年7月28日

上場会社名 日本興業株式会社

上場取引所 東

コード番号 5279 URL <https://www.nihon-kogyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 山口 芳美

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務人事部広報・IR室長兼
総務担当部長 (氏名) 朝井 正哉

TEL 087-894-8130

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績 (2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	3,090	1.0	22	△37.1	42	△18.2	19	△28.8
2026年3月期第1四半期	3,059	9.2	35	—	52	—	28	—

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 96百万円 (501.5%) 2026年3月期第1四半期 16百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	6.84	—
2026年3月期第1四半期	9.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	16,122	8,559	53.1
2026年3月期	17,205	8,623	50.1

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 8,559百万円 2026年3月期 8,623百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	55.00	55.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期 (予想)	—	0.00	—	45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(参考) 2026年3月期末配当金の内訳 普通配当 45円00銭 記念配当 10円00銭

3. 2027年3月期の連結業績予想 (2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期(累計)	6,100	△11.1	△70	—	△60	—	△100	△34.29
通期	15,300	△6.2	680	△14.0	700	△14.9	410	△29.1

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	3,064,200 株	2026年3月期	3,064,200 株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	147,709 株	2026年3月期	147,687 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	2,916,508 株	2026年3月期1Q	2,903,632 株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

※本資料に記載されている業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。予想には、さまざまな不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関しましては、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境が緩やかに回復しているものの、中東情勢の悪化による原油の供給不安に伴い、原材料価格やエネルギーコストの急激な高騰が生じるなど、先行きは極めて不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループ（当社および子会社）は、販売部門においては、役所や建設コンサルタントに向けて営業を担当する営業推進部門を中心に、開発・設計・生産部門の関連部署との連携体制の更なる強化を図り、当社プレキャストコンクリート製品の提案営業を継続してまいりました。また、開発・設計部門の支援による3次元データ等のデジタル技術を駆使しながら、高付加価値製品の拡販や難易度の高い特注物件の受注にも注力いたしました。生産部門においては、製造現場の労働環境の改善により生産性の向上を図るとともに、協力会社との連携も強化しながら原価の低減に取り組みました。一方、販売部門においても原材料価格の高騰をふまえ、販売価格の適正化に注力するなど、グループ一丸となって収益の確保に努めてまいりました。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は、景観資材事業ならびにエクステリア事業の増収に伴い、30億90百万円（前年同期比1.0%増）となりました。一方、利益面においては、連結子会社の業績が振るわなかったことなどにより、営業利益は22百万円（前年同期比37.1%減）、経常利益は42百万円（前年同期比18.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は19百万円（前年同期比28.8%減）となりました。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

(セグメント別売上高の状況)

区分	期別 前第1四半期累計期間		当第1四半期累計期間	
	金額	構成比	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%
土木資材事業	2,175	71.1	2,144	69.4
景観資材事業	651	21.3	678	21.9
エクステリア事業	232	7.6	267	8.7
合計	3,059	100.0	3,090	100.0

(土木資材事業)

国や地方の推進する「国土強靱化」を始め「防災・減災」「維持・補修」「流域治水」などの重点施策や、建設現場の省力化・効率化に向けたプレキャスト化の提案を積極的に推し進めた結果、ボックスカルバートや重圧管などが好調に推移したものの、情報BOXや道路側溝の売上の減少に加え、連結子会社である葉月工業株式会社の業績が振るわなかったことなどにより、当セグメントの売上高は21億44百万円（前年同期比1.4%減）、当セグメント利益は2百万円（前年同期比97.2%減）となりました。

(景観資材事業)

豊富な製品ラインナップと当社オリジナルの特注対応力を活かした提案営業を推進した結果、継続中の都市部大型物件における特注平板の出荷が好調に進捗したほか、各種舗装材や擬石ファニチュアなどの製品が売上を伸ばしたことで、当セグメントの売上高は6億78百万円（前年同期比4.1%増）、当セグメント利益は26百万円（前年同四半期は43百万円の損失）となりました。

(エクステリア事業)

展示会やSNS等で積極的な製品PR活動を展開した結果、主力の立水栓が堅調に推移したほか、販売子会社であるニッコーエクステリア株式会社の特販部における売上も業績に寄与したことで、当セグメントの売上高は2億67百万円（前年同期比15.2%増）と増収となった一方、一部の製品で原材料価格高騰の影響が残ったことにより、当セグメント損失は6百万円（前年同四半期は10百万円の損失）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて10億83百万円減少し、161億22百万円となりました。これは主に、売上高に季節的変動があることで売上債権の受取手形、売掛金及び契約資産が11億85百万円減少したことなどによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて10億19百万円減少し、75億62百万円となりました。これは主に、売上高の季節的変動に伴い仕入債務の支払手形及び買掛金が2億61百万円減少し、短期借入金も4億15百万円減少したことなどによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて63百万円減少し、85億59百万円となりました。これは主に、期末配当金の支払いにより利益剰余金が減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は53.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき予想しました結果、2026年4月28日に公表しました業績予想値に変更はありません。

なお、実際の業績につきましては、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,421,900	1,652,174
受取手形、売掛金及び契約資産	2,735,527	1,549,621
電子記録債権	2,696,092	2,170,893
商品及び製品	1,470,057	1,679,964
仕掛品	86,553	87,091
未成工事支出金	106,827	144,178
原材料及び貯蔵品	389,124	398,202
その他	120,271	120,109
貸倒引当金	△800	△550
流動資産合計	9,025,555	7,801,686
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	956,444	963,484
土地	3,877,343	3,877,343
その他（純額）	1,665,785	1,688,049
有形固定資産合計	6,499,573	6,528,876
無形固定資産	225,536	220,908
投資その他の資産		
投資有価証券	831,734	955,937
退職給付に係る資産	458,328	459,730
繰延税金資産	29,141	25,697
その他	166,492	160,299
貸倒引当金	△30,837	△30,837
投資その他の資産合計	1,454,858	1,570,828
固定資産合計	8,179,968	8,320,613
資産合計	17,205,523	16,122,299
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	989,222	728,012
電子記録債務	1,479,249	1,456,100
短期借入金	2,995,880	2,580,879
未払費用	321,935	536,297
未払法人税等	166,693	17,908
未払消費税等	205,008	63,294
賞与引当金	276,054	100,473
役員賞与引当金	30,216	—
工事損失引当金	2,980	1,838
その他	699,455	757,544
流動負債合計	7,166,696	6,242,348
固定負債		
長期借入金	894,979	784,755
繰延税金負債	123,332	180,462
その他	397,372	355,060
固定負債合計	1,415,683	1,320,277
負債合計	8,582,380	7,562,626

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,019,800	2,019,800
資本剰余金	1,996,248	1,996,248
利益剰余金	4,085,232	3,944,765
自己株式	△80,188	△80,214
株主資本合計	8,021,092	7,880,599
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	442,045	527,308
退職給付に係る調整累計額	160,005	151,765
その他の包括利益累計額合計	602,050	679,073
純資産合計	8,623,143	8,559,673
負債純資産合計	17,205,523	16,122,299

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	3,059,304	3,090,411
売上原価	2,335,299	2,394,284
売上総利益	724,005	696,127
販売費及び一般管理費	688,219	673,615
営業利益	35,785	22,512
営業外収益		
受取配当金	11,741	13,858
受取賃貸料	2,742	3,044
工業所有権実施許諾料	583	1,589
物品売却益	3,425	7,485
雑収入	7,525	8,731
営業外収益合計	26,018	34,709
営業外費用		
支払利息	8,727	13,154
賃貸費用	851	794
雑損失	—	576
営業外費用合計	9,578	14,525
経常利益	52,224	42,696
特別利益		
固定資産売却益	—	131
特別利益合計	—	131
特別損失		
固定資産除却損	—	1,328
特別損失合計	—	1,328
税金等調整前四半期純利益	52,224	41,500
法人税、住民税及び事業税	17,412	△3,858
法人税等調整額	6,786	25,417
法人税等合計	24,198	21,558
四半期純利益	28,025	19,941
親会社株主に帰属する四半期純利益	28,025	19,941

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	28,025	19,941
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,017	85,262
退職給付に係る調整額	△2,886	△8,240
その他の包括利益合計	△11,904	77,022
四半期包括利益	16,121	96,964
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,121	96,964

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	131,776千円	165,459千円
のれんの償却額	3,454	3,454

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	土木資材事業	景観資材事業	エクステリア 事業	合計		
売上高						
官需	1,731,932	513,803	7,979	2,253,715	—	2,253,715
民需	443,969	137,321	224,299	805,589	—	805,589
顧客との契約から生じ る収益	2,175,901	651,124	232,278	3,059,304	—	3,059,304
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,175,901	651,124	232,278	3,059,304	—	3,059,304
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	△1,253	△1,253	1,253	—
計	2,175,901	651,124	231,024	3,058,051	1,253	3,059,304
セグメント利益又は 損失(△)	89,568	△43,204	△10,579	35,785	—	35,785

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	土木資材事業	景観資材事業	エクステリア 事業	合計		
売上高						
官需	1,586,756	585,946	6,671	2,179,374	—	2,179,374
民需	558,092	92,076	260,868	911,037	—	911,037
顧客との契約から生じ る収益	2,144,848	678,022	267,539	3,090,411	—	3,090,411
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,144,848	678,022	267,539	3,090,411	—	3,090,411
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,144,848	678,022	267,539	3,090,411	—	3,090,411
セグメント利益又は 損失(△)	2,484	26,909	△6,881	22,512	—	22,512

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。